

NACCS業務資料 航空編 【航空会社】



輸出入・港湾関連情報処理センター株式会社
令和7年10月更新

● 輸出業務フロー

- 輸出業務フロー（輸出ストレート貨物） 3
- 航空会社の輸出業務について 4

● 輸出業務概要について

- フライトスケジュール登録（FSA）業務 6
- 搭載便割当情報登録について 7
- 搭載便割当情報登録呼出し（FLI）業務 8
- 搭載便割当情報登録（FLI01）業務 9
- 搭載完了登録（便単位）呼出し（CLA）業務 10
- 搭載完了登録（便単位）（CLA01）業務 11
- 搭載完了登録（AWB単位）呼出し（CLB）業務 12
- 搭載完了登録（AWB単位）（CLB01）業務 13
- 搭載完了終了登録（CLE）業務 14
- フライトスケジュール変更登録呼出し（FSB）業務 16
- フライトスケジュール変更登録（FSB01）業務 17
- フライトスケジュール照会（FSI）業務 18
- 搭載便割当情報訂正呼出し（FLF）業務 20
- 搭載便割当情報訂正（FLF01）業務 21

● 輸入業務フロー

- 輸入業務フロー（輸入ストレート貨物） 23
- 輸入業務フロー（輸入混載貨物） 24
- 航空会社の輸入業務について 25

● 輸入業務概要について

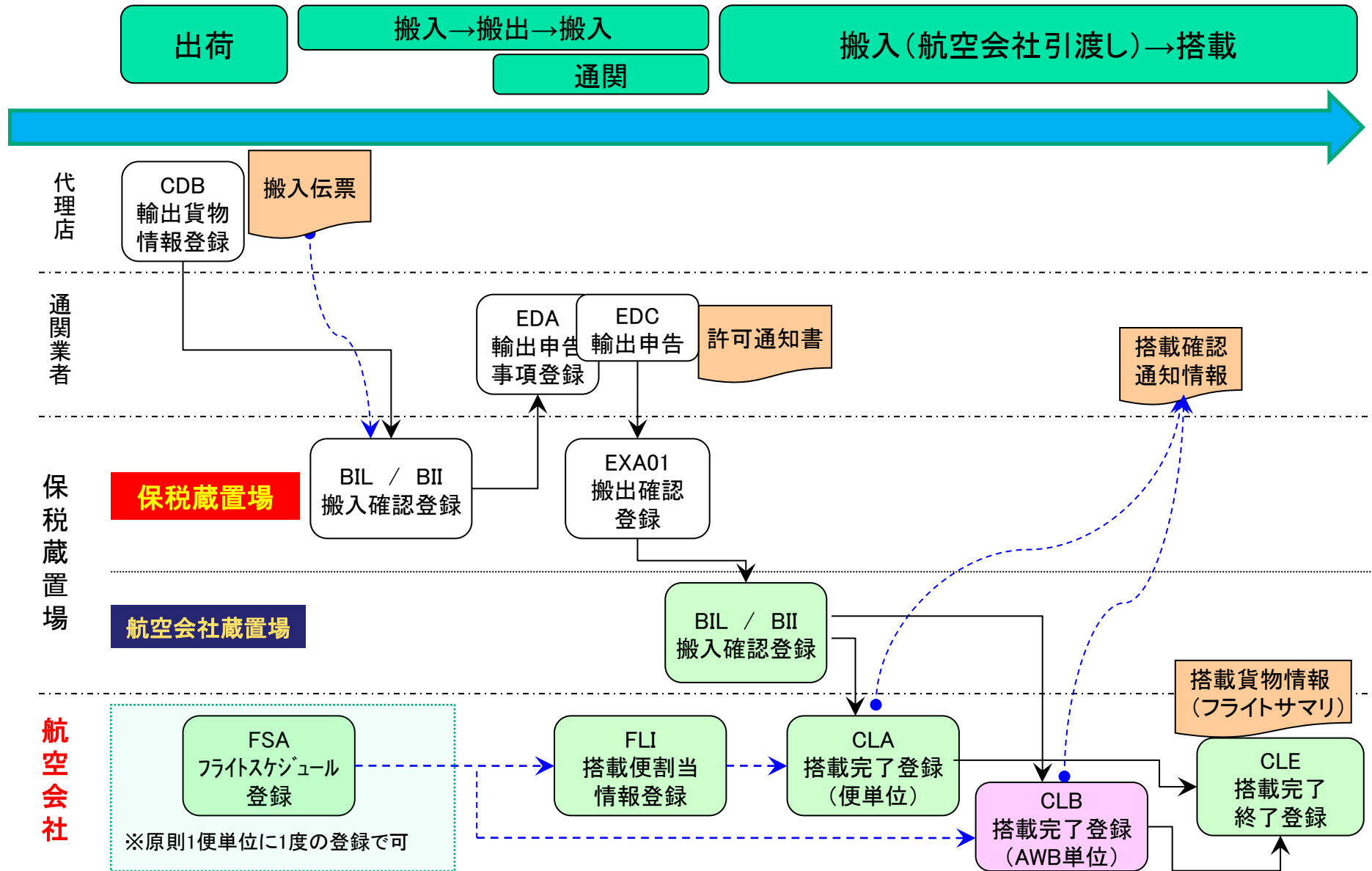
- 積荷目録事前報告（ADM01）業務 28
- 積荷目録事前報告（ハウス）（HDM01）業務 29
- AWB予備情報登録（AAW）業務 30
- AWB情報登録（輸入）呼出し（ACH11）業務 31
- AWB情報登録（輸入）（ACH）業務 32
- ACH業務時の留意点について 33
- HAWB情報登録（輸入）呼出し（HCH）業務 34
- HAWB情報登録（輸入）（HCH01）業務 35
- 貨物確認情報登録（PKG）業務 36
- 混載貨物確認情報登録（HPK）業務 38
- 貨物確認情報終了登録（EPK）業務 39
- AWB情報終了登録（EAW）業務 40

● 保税運送申告（一括）について

- 保税運送申告（一括）について 43
- 保税運送申告（一括）呼出し（GOL）業務 44
- 保税運送申告（一括）（GOL01）業務 45

輸出業務フロー

輸出業務フロー(輸出ストレート貨物)



FSA フライトスケジュール登録	航空会社がフライトスケジュール情報の登録を行う業務です。 フライトスケジュールには、定期フライトスケジュールを登録する「基本フライト情報」と、定期フライトスケジュールに対しての変更便、欠航便及び臨時便を登録する「日別フライト情報」があります。 このフライトスケジュール情報は、「搭載便割当情報登録(FLI)」業務または「マニフェスト情報登録(便単位)(MFF)」業務等で使用されます。
FSB/FSB01 フライトスケジュール変更登録	航空会社がフライトスケジュール情報の変更及び取消しを行う業務です。 FLI業務、MFF業務等を実施後に、その便名に対してこの業務で変更及び取消しを行った場合でも、輸出便情報やマニフェスト情報の変更・取消しは行われません。
FSI フライトスケジュール照会	航空会社がフライトスケジュール情報の照会を行う業務です。 一回のFSI業務で照会出来る件数は、最大9件です。なお、9件を超える場合は、FSI業務を再度送信することにより次の9件を照会することができます。
FLI/FLI01 搭載便割当情報登録	入力されたAWB番号、及びULD番号単位に、貨物を搭載する航空便の情報を登録する業務です。
FLF/FLF01 搭載便割当情報訂正	入力された航空便名単位、またはAWB番号単位に、その航空便に搭載便割当がされている輸出貨物情報、並びにULD情報を呼び出して、搭載する航空便情報の変更または取消しを行う業務です。
CLA/CLA01 搭載完了登録(便単位)	搭載する航空便単位に、輸出貨物情報またはULD情報を呼び出して、外国貿易機に搭載した旨を登録する業務です。 また、輸入業務において仮陸揚貨物として登録し、輸出貨物へ移送した貨物についても、この業務により搭載した旨を登録します。なお、このCLA業務の取消はありませんのでご注意ください。
CLB/CLB01 搭載完了登録(AWB単位)	AWB番号、またはULD番号単位に、輸出貨物情報またはULD情報を呼び出し、外国貿易機に搭載した旨を登録する業務です。 また、輸入業務で仮陸揚貨物として登録し、輸出貨物へ移送した貨物についても、この業務により搭載した旨を登録します。なお、このCLB業務の取消はありませんのでご注意ください。
CLE 搭載完了終了登録	CLE業務で入力された搭載便に便割当てがされているすべての輸出貨物情報、及びULD情報について、外国貿易機へ搭載が終了した旨を登録する業務です。 ただし、搭載完了登録(CLAまたはCLB業務)がされていない貨物がある場合は、「搭載完了未入力情報」に出力されます。 また、このCLE業務において搭載が終了した旨の登録を行った場合の取消はありませんので、ご注意ください。

輸出業務概要について

■ フライトスケジュール登録について

- フライトスケジュール情報の登録を行います。
 - 定期便情報の登録⇒基本フライト情報
定期便の変更、欠航、臨時便⇒日別フライト情報
- FSA業務により実施します。



■ FSA業務の入力項目について

フライト情報識別※ B

B: 基本フライト情報
D: 日別フライト情報

日別フライト情報の登録を行う場合のみ入力
右欄: 欠航便情報を登録する場合、「N」

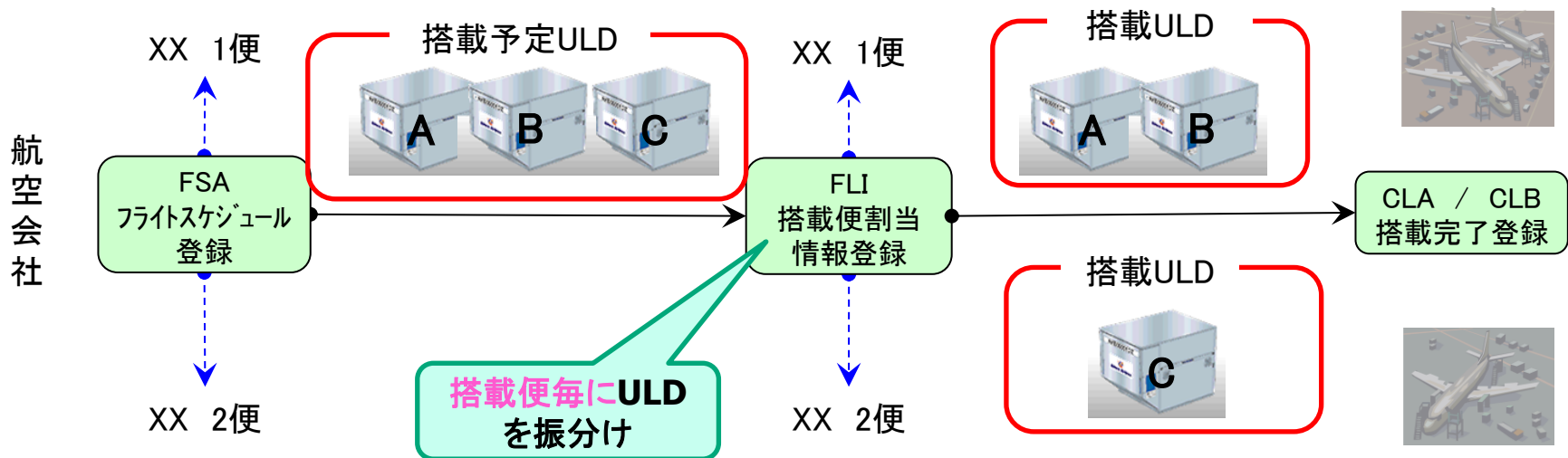
便名 取卸地	曜日 (月～日) (×10)	月日	出発時刻	仕出地	MFST
1 Z80001 LAX	1234567	/	10:00	NRT	
2 Z80002 ICN	12 4 6	/			
3					

仕出地、取卸地
IATA空港コードを入力

曜日を数値に変換し、以下の形式で入力
月曜日:1、火曜日:2 ～ 土曜日:6、日曜日:7
例
・月曜日、水曜日を登録する場合 —「1 3」
・月曜日から日曜日までを登録する場合 —「1234567」
※基本フライト情報のみ入力可能

■ 搭載割当情報登録について

- 貨物の搭載便が分かれる場合に搭載便毎に貨物の割当登録を行います。
- AWB及びULD単位に搭載便情報の登録を行います。
- FLI業務により貨物情報を呼出し、FLI01業務により実施します。



1 搭載便に割当て可能なAWB件数は、最大500件となります。また、1 搭載便に割当て可能なULD件数は、最大99件となります。



■ FLI業務の入力項目について

割当て便名※

Z80001 / 07OCT

取卸地※

LAX

処理

AWB番号

01	☐	888 - 70000836
02	☐	-
03	☐	
04	☐	
05	☐	-

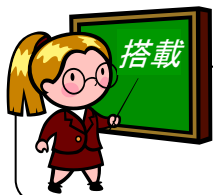
入力後、送信

FLI01業務へ

割当を行う対象の便名を入力
※入力された割当て便名に対する日別または基本フライト情報が存在すること

対象便に搭載を行うAWB番号またはULD番号を入力

スペース:AWB
U:ULD
X:処理対象外



入力者が受託者の場合は、受委託関係がシステムに登録されていることが必要になります。

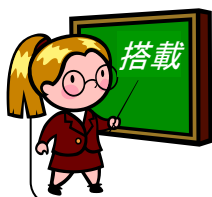
■ FLI01業務の入力項目について

割当て便名* Z80001 / 07OCT 取卸地* LAX

処理	AWB番号	識別	個数	重量	品名	DST	SPC	特記事項
01	888 - 70000836		200	246913.4	CONSOLIDATED CARGO	LAX		
02	-							
03								
04								
05	-							
06	-							

スペース:AWB
S:分割搭載AWB
U:ULD

(1)貨物識別が「S」(スプリット表示)の場合は、スプリット個数(重量)を入力
(2)貨物識別がスペースの場合は、便割当て個数(重量)を入力



FLI01業務から直接登録も可能ですがその場合、貨物情報の存在チェックを行いません。
貨物情報のチェックを行いたい場合は、FLI業務からの呼び出しをお勧めします。



■ 搭載完了登録(便単位)について

- **搭載便単位**に、外国貿易機に搭載した旨を登録します。

- 本業務を契機に搭載確認通知を出力します。

※要搭載確認の旨の登録がある場合

- CLA業務により便割当済みの貨物情報を呼び出し、CLA01業務により実施します。

※便単位であり、複数回の実施は不可

■ CLA業務の入力項目について

便名 *	Z80001 / 07OCT
強制入力表示	

入力後、送信

CLA01業務へ

搭載完了とする対象便名を入力
※便割当が行われていること

スペース: 搭載便名2がシステム年月日
F: 搭載便名2がシステム年月日以外

■ CLA01業務の入力項目について

便名 出発年月日*

合計 AWB件数 個数 重量 ULD件数

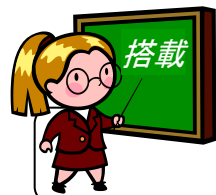
強制入力表示 ☐

処理	AWB番号	識別	個数	重量	仕向地	SPC	取卸地
01 ☐	888 - 70000836	☐	200	246913.4	LAX	☐	LAX
02 ☐	-	☐				☐	
03 ☐	-	☐				☐	
04 ☐							
05 ☐							

スペース: AWB
S: 分割搭載AWB
U: ULD

スペース: 処理対象
X: 処理対象外
F: 全量不積(便割当て取消し)

分割搭載の場合に搭載個数・重量を入力
①実搭載個数(搭載可能個数欄の入力個数) ≤ 搭載可能個数
②実搭載重量(搭載可能重量欄の入力重量) ≤ 搭載可能重量

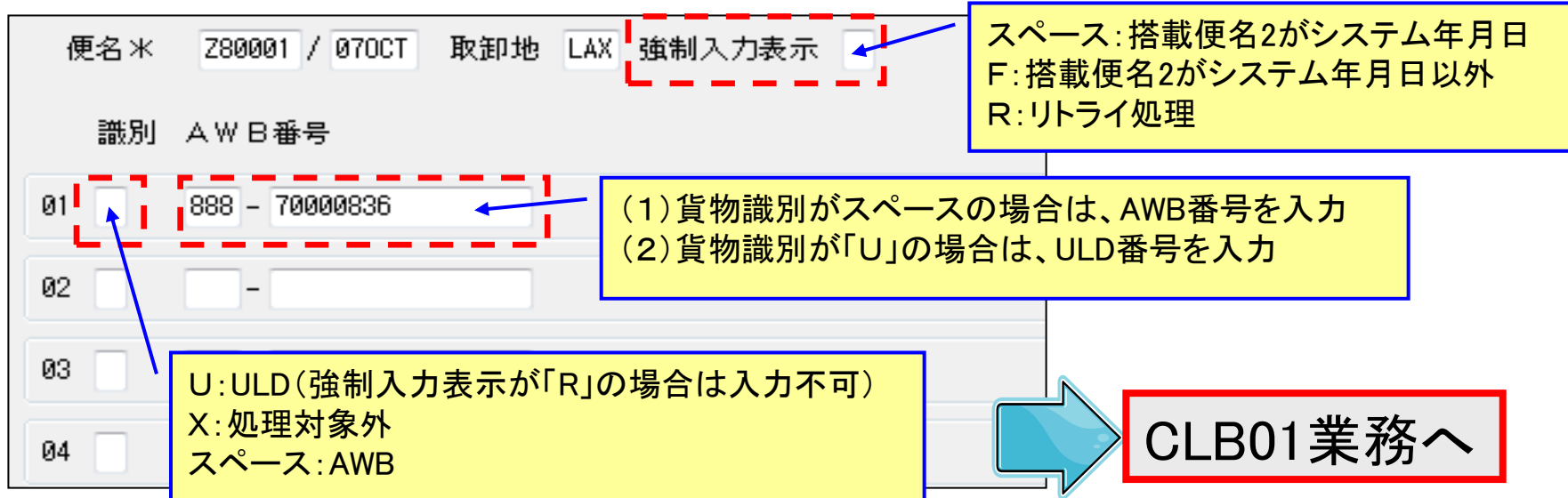


搭載完了登録を取り消すことは出来ませんので、入力にご注意ください。

■ 搭載完了登録(AWB単位)について

- **AWBまたはULD単位**に、外国貿易機に搭載した旨を登録します。
 - 本業務を契機に搭載確認通知を出力します。
※要搭載確認の旨の登録がある場合
- CLB業務により貨物情報を呼び出し、CLB01業務を実施します。
- CLA業務で、エラー等により搭載できなかったAWB等をエラー対処後に当該業務にて個別に登録します。

■ CLB業務の入力項目について



便名＊ Z80001 / 07OCT 取卸地 LAX 強制入力表示 ☐

識別 AWB番号

01 ☐ 888 - 70000836

02 ☐ -

03 ☐

04 ☐

スペース: 搭載便名2がシステム年月日
F: 搭載便名2がシステム年月日以外
R: リトライ処理

(1) 貨物識別がスペースの場合は、AWB番号を入力
(2) 貨物識別が「U」の場合は、ULD番号を入力

U: ULD (強制入力表示が「R」の場合は入力不可)
X: 処理対象外
スペース: AWB

CLB01業務へ

■ CLB01業務の入力項目について

便名※ Z80001 / 07OCT 取卸地 LAX 出発年月日

合計 AWB件数 0 個数 0 重量 0 件数 0

強制入力表示

処理	AWB番号	識別	個数	重量	仕向地	SPC	分割搭載ULD
01	888 - 70000836	200	246913.4	LAX			
02							
03							
04							

スペース:AWB
S:分割搭載AWB
U:ULD

スペース:処理対象
X:処理対象外
F:全量不積(便割当て取消し)

当該貨物がAWBでかつ分割搭載する場合に搭載する個数を入力

入力されたAWBが複数のULDまたはULDとバラ貨物で構成されている場合は、以下の条件により入力
(1) 1つのULDを分割搭載する場合は、ULD番号を入力
(2) 複数のULDを分割搭載する場合は、搭載するULD番号を入力

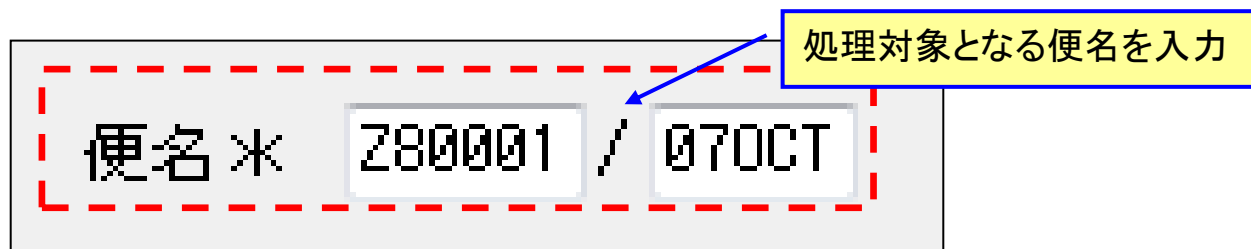
■ 搭載完了終了登録について

- 搭載便に便割当てされているすべての輸出貨物情報及びULD情報について、外国貿易機への搭載が終了した旨を登録します。

※搭載完了の旨の登録がされていない貨物がある場合は、その旨を搭載完了未入力情報に出力します。

- CLE業務により実施します。

■ CLE業務の入力項目について



The diagram shows a rectangular input form with a dashed red border. Inside the form, the text '便名※' is followed by two input fields: 'Z80001' and '07OCT', separated by a forward slash. A blue arrow points from a yellow callout box to the 'Z80001' field. The callout box contains the text '処理対象となる便名を入力'.

便名※ Z80001 / 07OCT

処理対象となる便名を入力

フライトサマリ※ 見本

<AIR/EXP>

2011/10/11 09:04

FLT SUMMARY

LADING FLT NO Z80001 / 07OCT DEP DATE 2011.10.11
ROUTE NRT - LAX (VIA)

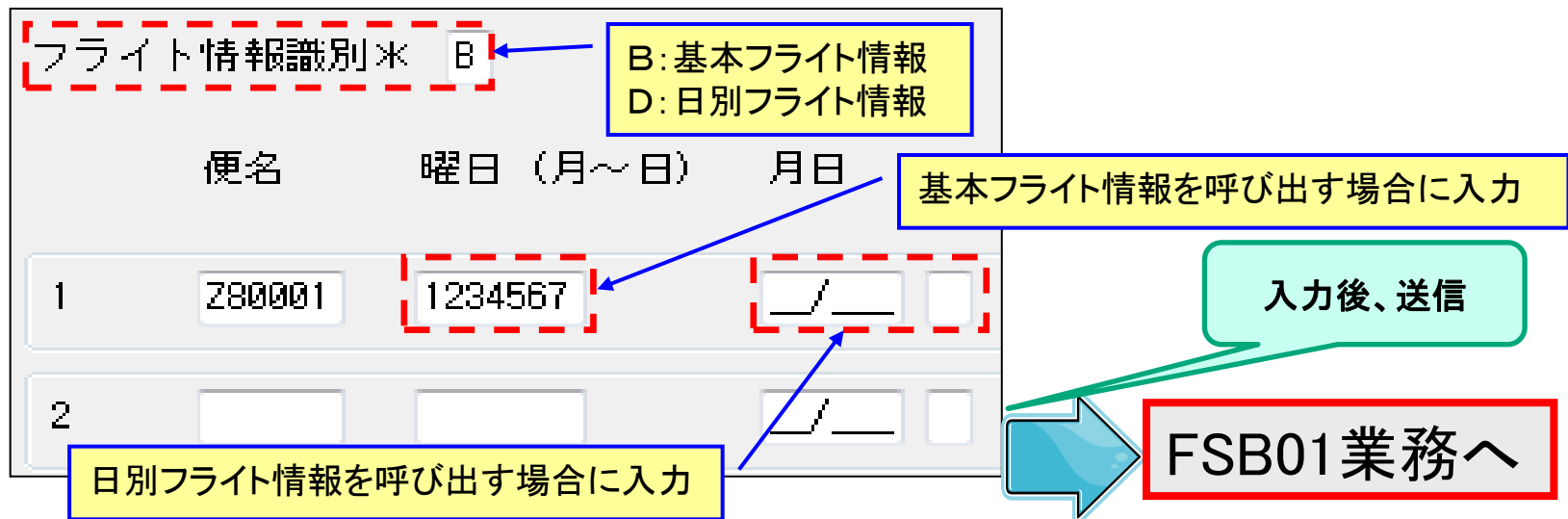
DSTN	CGO.ST	TOTAL			DIRECT			TRANSIT		
		AWB	PCS	WGT	AWB	PCS	WGT	AWB	PCS	WGT
TOTAL	REVENUE	1	200	246,913	1	200	246,913	0	0	0
TOTAL	NON-REV	0	0	0	0	0	0	0	0	0
G-TOTAL		1	200	246,913	1	200	246,913	0	0	0
NRT - LAX	REVENUE	1	200	246,913	1	200	246,913	0	0	0
	NON-REV	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	TOTAL	1	200	246,913	1	200	246,913	0	0	0

当該出力電文は、入力者に出力されます。



- フライトスケジュール変更登録について
 - フライトスケジュール情報の変更および取消を行います。
 - 定期便情報の登録⇒基本フライト情報
 - 定期便の変更、欠航、臨時便⇒日別フライト情報
 - FSB業務により登録されているスケジュールを呼び出し、FSB01業務により実施します。

■ FSB業務の入力項目について



The screenshot shows a form for flight schedule change registration. The form has a header section with a dropdown menu labeled 'フライト情報識別※' (Flight Information Identification) with the value 'B' selected. Below this is a table with columns for '便名' (Flight Name), '曜日 (月～日)' (Day of the Week (Month~Day)), and '月日' (Month/Day). The table has two rows, numbered 1 and 2. Row 1 contains the flight name 'Z80001', the day of the week '1234567', and the month/day field is empty. Row 2 contains empty fields for all three columns. Annotations include: a yellow box pointing to the 'B' in the dropdown with the text 'B: 基本フライト情報 D: 日別フライト情報'; a yellow box pointing to the '1234567' in row 1 with the text '基本フライト情報を呼び出す場合に入力'; a yellow box pointing to the empty month/day field in row 1 with the text '日別フライト情報を読み出す場合に入力'; a green box with the text '入力後、送信' (After input, send); and a large blue arrow pointing to a red box labeled 'FSB01業務へ' (To FSB01 business).

	便名	曜日 (月～日)	月日
1	Z80001	1234567	/
2			/

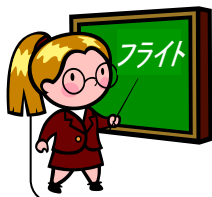
■ FSB01業務の入力項目について

フライト情報識別* B

便名	曜日 (月～日)	月日	出発時刻	仕出地	MF	ST
1	X	Z80001	1234567	/		10:00
	LAX					
2			/			_: _
3			/			_: _

登録済みのスケジュールが展開されるので、変更内容を入力する

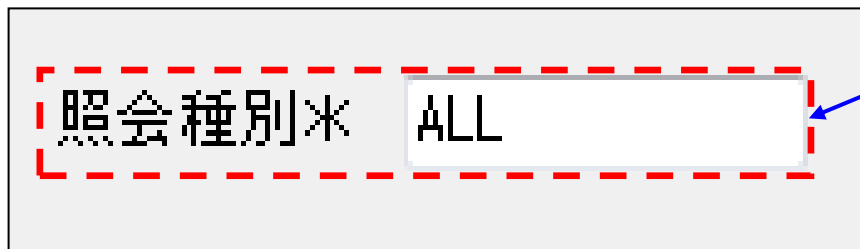
スペース: 変更
X: 取消し



基本フライト情報は、本業務による取消を行わない限り、削除はされません。
日別フライト情報は、本業務によることなく、出発予定月日の翌日に削除されます。

- フライトスケジュール照会について
 - 登録されているフライトスケジュール情報の照会を行います。
 - 定期便情報の登録⇒基本フライト情報
 - 定期便の変更、欠航、臨時便⇒日別フライト情報
 - FSI業務により実施します。

- FSI業務の入力項目について



照会種別* ALL

照会種別

- ①利用者単位全情報を照会
「ALL」
- ②日付単位に照会
「DDMMM」
- ③便名単位に照会
「XX9999」
「XX999X」
- ④便名＋日付単位
「XX9999／DDMMM」
「XX999X／DDMMM」

■ FSI業務の照会結果について

照会種別

	便名 取卸地	曜日 (月～日) (×10)	月日	出発時刻	仕出地	便MFS
1	Z80001 LAX	1234567	/	10:00	NRT	
2	Z81110 LAX	1234567	/	10:00	NRT	
3	Z81111 LAX	1234567	/	10:00	NRT	

照会結果の例
航空会社「Z8」 0001便
成田空港発ロサンゼルス空港行き
デイリー運航

業務メッセージ

	コード	内容	処置
	COMPLETE		
	W1001	照会対象となる継続情報が存在する。	出力された情報を再送信する。

照会結果に継続情報(一画面に収まらない)がある場合、展開画面にて再度送信を行うことができます

■ 搭載便割当情報訂正について

- 入力された便名単位またはAWB単位に、当該便に搭載便割当てされている輸出貨物情報並びにULB情報を呼び出し、搭載便情報の変更または取消しを行う。
- FLF業務にて登録されている割当情報を呼び出し、FLF01業務で登録します。

■ FLF業務の入力項目について

C:変更の場合
X:取消しの場合
F:強制取消しの場合
M:貨物識別の変更登録の場合

種別*	C	割当て (変更後) 便名	Z81110 / 07OCT	取卸地	LAX
		取消し (変更前) 便名*	Z80001 / 07OCT	取卸地*	LAX
処理	AWB番号				
01	☐	888 - 70000836			
02	☐	-			

AWBで呼び出す場合に入力

入力後、送信

➡ FLF01業務へ

■ FLF01業務の入力項目について

種別	C	割当て (変更後)	便名	Z81110 / 07OCT	取卸地	
		取消し (変更前)	便名	Z80001 / 07OCT	取卸地	

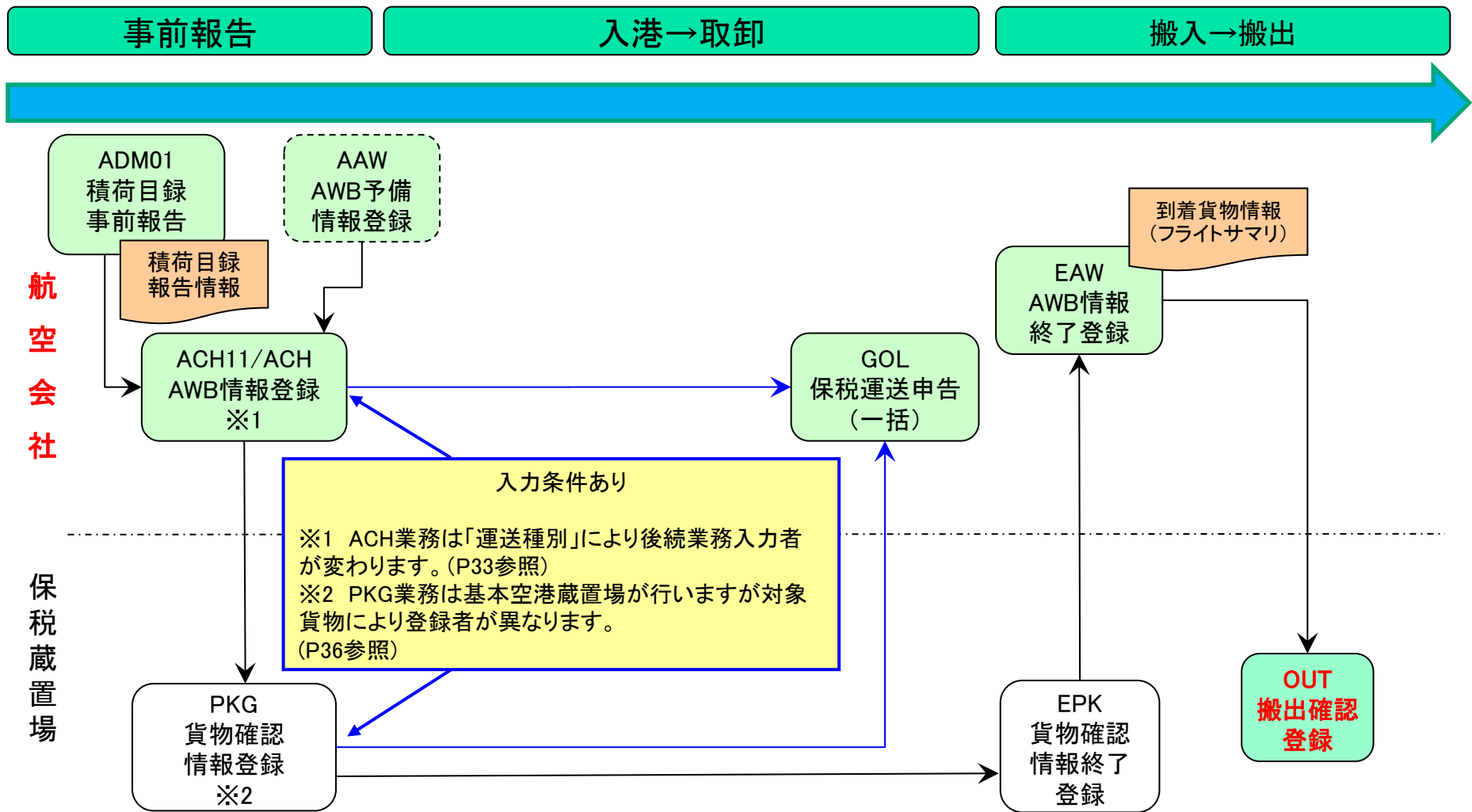
処理	AWB番号	S	個数	重量	S個数	S重量	品名
	仕向地	S F C			特記事項		
01	888 - 70000836 LAX		200	246913.4			CONSOLIDATED CARGO
02	-						

処理種別が「C」(変更)の場合は、必須入力
※処理種別が「X」(取消し)、「F」(強制取消し)または「M」(貨物識別の変更登録)の場合は、入力不可

処理種別が下記の場合
 ・「X」(取消し)または「F」(強制取消し)
 取消し用の便名を必須入力
 ・「C」(変更)
 変更前の便名を必須入力
 ・「M」(貨物識別の変更登録)
 貨物の割り当てられている便名を必須入力

輸入業務フロー

輸入業務フロー(輸入ストレート貨物)



搬出確認登録(OUT)業務は、対象の貨物が「輸入許可」または「保税運送承認」がされている場合に実施が可能となります。(EAW業務前でも可能です。)

輸入業務フロー(輸入混載貨物)

事前報告

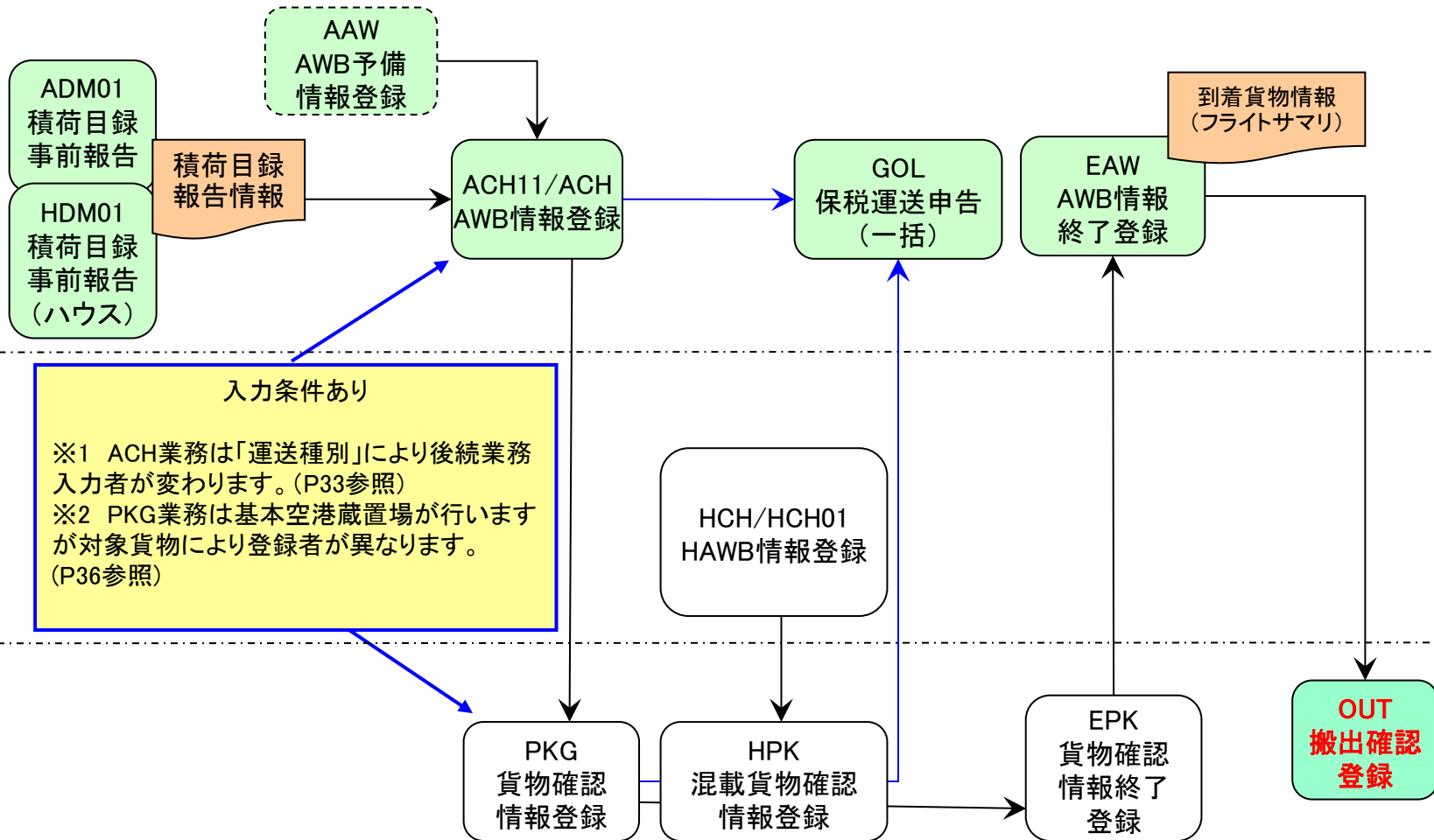
入港→取卸

搬入→搬出

航空会社

混載業

保税蔵置場



搬出確認登録(OUT)業務は、対象の貨物が「輸入許可」または「保税運送承認」がされている場合に実施が可能となります。(EAW業務前でも可能です。)

ADM01 積荷目録事前報告	税関に対して到着便単位に積荷目録の事前報告を行います。 本業務は航空通信回線を経由した登録も可能です。
HDM01 積荷目録事前報告(ハウス)	税関に対して到着便単位にHAWB番号に係る積荷目録の事前報告を行います。 本業務は航空通信回線を経由した登録も可能です。
AAW AWB予備情報登録	貨物の発送地から送られてくる航空貨物運送証(AWB)に基づいて、航空機の到着前にAWB情報を事前に仮登録します。また、1到着便に対しての分割入力も可能です。 本業務は入力された到着便名に対して「AWB情報登録(輸入)(ACH)」業務または「AWB情報訂正(CAW)」業務が行われるまでは随時入力が可能です。
ACH11/ACH AWB情報登録(輸入)	「AWB予備情報登録(AAW)」業務により登録されたAWB予備情報または「積荷目録事前報告(ADM01)」業務により登録された積荷目録事前報告情報単位にAWB情報登録を行います。また、仮陸揚貨物、機移し貨物をシステムで行う場合は、本業務で登録を行います。なお、「AWB予備情報登録(AAW)」業務により登録されたAWB予備情報に対し、変更、追加を行い登録することも可能です。
HCH/HCH01 HAWB情報登録(輸入)	「AWB情報登録(輸入)(ACH)」業務または「AWB情報訂正(CAW)」業務においてAWB情報が輸入貨物情報DBに登録されている場合に、その情報と呼び出し、混載貨物に係るHAWB情報として総個数及び総重量等を登録を行います。
PKG 貨物確認情報登録	外国貿易機から取り卸ろされた外国貨物について、最初に搬入蔵置される保税蔵置場において、AWB単位に貨物個数及び貨物重量等、貨物の確認結果を入力します。 ただし、「ULD引取情報登録(UDA)」業務により、ULD引取情報が登録されている場合は、ULDインタクト(内蔵)貨物とバラ貨物のそれぞれに対して本業務を行います。
HPK 混載貨物確認情報登録	HAWB情報登録済の場合、「HAWB情報登録(輸入)(HCH)」業務、または「HAWB情報訂正(CHA)」業務により登録された、HAWB情報を確認し、混載貨物確認情報を登録を行います。 HAWB情報未登録の場合、HAWB情報登録業務に先行して、混載貨物確認情報を登録を行います。 なお、HAWB情報登録業務によりHAWB情報が登録された場合に、当該HAWBは有効な貨物情報となります。
EAW AWB情報終了登録	「AWB情報登録(ACH)」業務により1便分のAWB情報が入力されていることを確認し、終了登録を行います。 「貨物確認情報終了登録(EPK)」業務が行われていることにより、到着貨物情報(フライトサマリ)が出力されます。

EPK 貨物確認情報終了登録	貨物種別(到着空港揚貨物、仮陸揚貨物(他空港向一括保税運送仮陸揚貨物を含む。以下同様。)、及び他空港向け一括保税運送貨物または社用品)の単位に、1便分の貨物確認情報(PKG)の入力が終了した時に、それぞれの貨物確認情報の入力を行った保税蔵置場及び航空会社が、貨物確認情報の1便分の入力が終了した旨を登録します。
GOL 保税運送申告(一括)	到着空港から、一括で到着便単位に保税運送の申告、及び包括保税運送承認に係る個別運送情報の登録、または特定保税運送の登録を行います。 また、仮陸揚貨物の保税運送の申告、及び包括保税運送承認に係る個別運送情報の登録、または特定保税運送の登録も可能です。
OUT 搬出確認登録	保税蔵置場または他所蔵置場所に蔵置されている貨物の搬出を行います。 また、蔵置場所から搬出口への搬送指示情報、及び蔵置料の請求書・領収書・計算書情報の作成等を行います。 (事前登録が必要。) なお、搬出確認登録後の取消し業務も当業務で行います。

輸入業務概要について

積荷目録事前報告(ADM01)業務

■ 積荷目録事前報告について

■ 積荷目録事前報告を行います。

- 税関に対して到着便単位に積荷目録(マスター)の事前報告を行います。
- 航空通信回線(SITA/ARINC)を経由した業務実施も可能です。
- 積荷目録(ハウス)の事前報告はHDM01業務で実施可能です。
- 訂正の際は、CAM/CAM01業務で実施可能です。
- 入力者の所属空港と到着空港が異なる場合における積荷目録の事前報告行う場合はCAM/CAM01業務で実施可能です。

■ ADM01入力項目について

到着便名*	Z80101 / 080CT	共同運航	☐	国籍	☐
到着予定年月日	2019/03/26	到着予定時刻	12:00		
⏮ ⏪ 1 /3 ⏩ ⏭					
AWB番号	1 000 - 12341234	S	☐	ULD	☐
仕出地	LAX	仕向地	NRT	個数	10
				総個数	350
				重量	350
				総重量	-
				KGM	CARGO

ULD貨物の場合登録
 U:ULD收容の場合
 K::ULDの場合

スプリット貨物の1便目の場合はSを入力
 ※1便目では、総個数・総重量も入力

スペース:到着空港揚貨物または一般仮陸揚貨物の場合
 K:仮・仮、マル仮貨物
 ? :未定
 1:社用品
 T:他空港向一括保稅運送
 H:他空港向一括保稅運送仮陸揚貨物
 M:機移し貨物

荷受人		
荷受人住所		

■ 積荷目録事前報告(ハウス)について

- 積荷目録事前報告を行います。
 - 税関に対して到着便単位に積荷目録(ハウス)の事前報告を行います。
 - 航空通信回線(SITA/ARINC)を経由した業務実施も可能です。
 - 積荷目録(マスター)の事前報告はADM01業務で実施可能です。
 - 訂正の際は、CAH/CAH01業務で実施可能です。

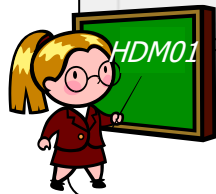
■ HDM01入力項目について

MAWB番号* -

到着便名* / 仕出地*

⋮ ⏪ ⏩ 1 /5 ⏪ ⏩

HAWB番号	総個数	総重量	品名	SPC	仕向地
1 111 - 12341234	5	175 - KGM	CARGO		NRT
荷送人					
荷送人住所			荷送人電話番号		
荷受人 -					
荷受人住所			荷受人電話番号		



- ①1業務で入力可能なHAWB番号の件数は、最大20件とする。
- ②1HAWB番号に対して登録可能な到着空港数は、最大5空港とする。
- ③1空港で登録可能な到着便情報は、最大30件とする。

■ AWB予備情報登録について

- 航空機の到着前にAWB情報を事前に仮登録します。
- この仮登録により、「AWB情報登録(輸入)(ACH)」業務の情報として利用可能です。
- AAW業務にて実施します。

■ AAW入力項目について

処理識別 ☐

到着便名* Z80101 / 080CT 共同運航 ☐ 国籍 ☐

到着年月日* 2019/03/26 到着時刻* 12:00

1 / 3

AWB番号	仕出地	仕向地	S	ULD	個数	重量	品名
			C	社用品	総個数	総重量	
1 000 - 12341234	LAX	NRT	☐	☐	10	350	KGM CARGO

荷受人 _____ - _____

荷受人住所 _____

ULD貨物の場合登録
U:ULD收容の場合
K::ULDの場合

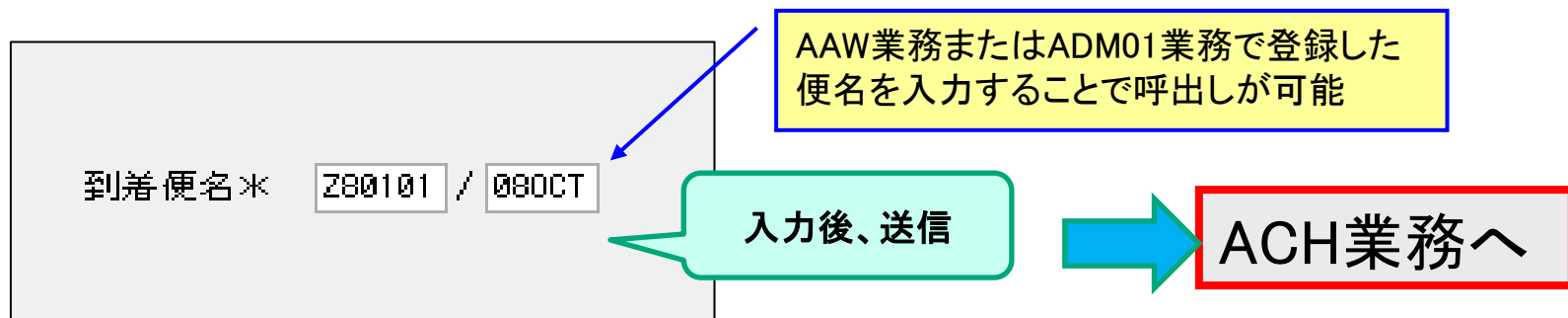
到着年月日と到着時刻は未来を入力

スペース:到着空港揚貨物または一般仮陸揚貨物の場合
K:仮・仮、マル仮貨物
?:未定
1:社用品
T:他空港向一括保稅運送
H:他空港向一括保稅運送仮陸揚貨物
M:機移し貨物

スプリット貨物の1便目の場合はSを入力
※1便目では、総個数・総重量も入力

■ AWB情報登録(輸入)について

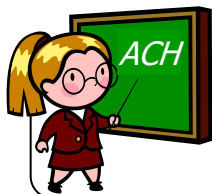
- AWB予備情報登録(AAW)業務で登録した情報、または積荷目録事前報告(ADM01)業務で登録した情報を呼び出して、変更、追加を行い、登録することも可能です。ただし、AAW業務実施済みの場合、ADM01業務の情報の呼出しができません。
- 本業務を登録の際、次の条件に該当する場合、「積荷目録状況通知情報」が出力されます。
 - ・入力された到着便名に対して最初にAWB情報登録業務が行われた。



Attention !

第7次NACCS更改後は、予めシステムに登録された航空会社と受託航空会社(グランドハンドリング会社等)との受委託関係を判断し、受委託関係がある場合は、ADM01業務で登録された情報を受託航空会社(グランドハンドリング会社等)が呼出し可能とします。

ADM01業務等を行わずに本業務を行った場合、事前報告とはならないので留意してください。



■ ACHの入力項目について

到着便名* Z80101 / 080CT 共同運航 ☐ 国籍 ☐ 到着年月日* 2017/10/08 到着時刻 12:00 差日数 ☐

1 / 3

AWB番号	S	ULD	個数	重量	品名	SPC
仕出地 仕向地	C	社用品	総個数	総重量		
1 000 - 12341234	☐	☐	10	350	KGM CARGO	☐
LAX NRT - ▼	☐	☐		-		

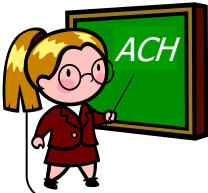
荷送人

荷送人住所 荷送人電話番号

荷受人 -

荷受人住所 荷受人電話番号

入力内容はAAWと同様



ACHIはAAWから呼び出しもできることからADM01が登録漏れ(事前報告漏れ)である可能性があります。IAAまたはIAF11業務等で積荷目録事前報告のチェックをお勧めします。

- ACH業務で、「運送種別」を決定することになります。
- 当該「運送種別」によって、後続業務であるPKGおよびEPKの入力者が変わりますので、注意が必要です。

※登録業務はAAW、ADM01業務等

AWD番号	仕出地	仕向地	S	ULD	個数	重量	品名	SPC
			C	社用品	総個数	総重量		
1 123 - 001	LAX	NRT			1	10 - KGM	CONSL	
荷送人 荷送人住所 荷送人電話番号 荷受人 荷受人住所 荷受人電話番号								
2 123 - 002	LAX	KIX			1	10 - KGM	CONSL	
荷送人 荷送人住所 荷送人電話番号 荷受人 荷受人住所 荷受人電話番号								
3 ULD - 003	LAX	KIX		K			ULD PNC123422	
荷送人 荷送人住所 荷送人電話番号 荷受人 荷受人住所 荷受人電話番号								
4 123 - 004	LAX	KIX		U	1	10 - KGM	CONSL	
荷送人 荷送人住所 荷送人電話番号 荷受人 荷受人住所 荷受人電話番号								

①一般貨物(到着空港卸)
 個数、重量入力
 仕向地:到着の空港コードを入力
 運送種別:「△(スペース)」
 PKG入力者:空港蔵置場

②一般貨物(他空港向け)
 個数、重量入力
 仕向地:運送先空港コード
 運送種別:「T(他空港向一括保税運送貨物)」
 PKG入力者:航空会社

TACM運送(バラ貨物)

③ULD容器の場合
 ULD表示欄:「K」
 個数、重量入力不要
 仕向地:運送先空港コード
 運送種別:「T(他空港向一括保税運送貨物)」
 PKG入力者:航空会社

TACMインタクトでのULD機材

④ULDに収容されている貨物
 ULD表示欄:「U」
 個数、重量欄は入力
 仕向地:運送先空港コード
 運送種別:「T(他空港向一括保税運送貨物)」
 PKG入力者:到着地保税蔵置場

TACMインタクト貨物(TU貨物)

■ HAWB情報登録(輸入)について

- 「AWB情報登録(輸入)(ACH)」業務または「AWB情報訂正(CAW)」業務においてAWB情報が輸入貨物情報DBに登録されている場合に、その情報を呼び出し、混載貨物に係るHAWB情報として総個数及び総重量等を登録します。

■ HCH入力項目について

MAWB番号※	000 - 12341234
孫混載表示	☐
到着便名※	Z80101 / 08OCT NRT
ジョイント	☐
委託元混載業	

ACH業務またはCAW業務で登録した便名を入力することで呼出しが可能

入力後、送信

HCH01業務へ

HAWB情報登録(輸入)(HCH01)業務

■ HCH01の入力項目について

委託元混載業 税関官署* ← 指定の税関官署コードを入力

MAWB番号* - 孫混載表示

到着便名* / 仕出地* ジョイント混載

1 111 - 12341234 5 175 - KGM CARGO SPC 仕向地 搬入地域 仕立

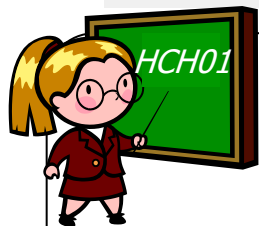
荷送人

荷送人住所

荷受人 -

荷受人住所 荷受人電話番号

入力内容はHDM01と同様



- ①1業務で入力可能なHAWB件数は、最大20件とする。
- ②1MAWBで登録可能なHAWB件数は最大9999件とする。
- ③ジョイント混載業(1つのMAWB貨物が複数の混載業者によって仕立てられている事)は、最大19業者とする。
- ④1HAWBで登録可能な到着空港数は、最大5空港とする。

■ 貨物確認情報登録について

- 外国貿易機から取り卸された外国貨物について、最初に搬入される保税蔵置場において、AWB単位に貨物個数及び貨物重量等を確認した結果を入力します。
- PKG業務にて実施します。

※ 基本は空港蔵置場が行いますが下記の対象貨物の場合、登録者が異なります。

登録者	対象貨物
航空会社	仮陸揚貨物
	他空港向一括保税運送貨物
	航空会社保税蔵置場向け社用品
	他空港向一括保税運送仮陸揚貨物
税関又は 他所蔵置許可申請者	他所蔵置許可貨物
到着地の保税蔵置場	他空港向一括保税運送されるULD収容貨物

■ PKG業務の入力項目について

到着便名※ Z60012 / 16MAY 保税蔵置場 1AAB4 ULD収容 ☐ 差日数 ☐

AWB番号 U 個数 重量 C SPC 事故 生鮮 M
ロケーション

1	131	-	79061894		11	3350.0	-	KGM						
---	-----	---	----------	----------------------	----	--------	---	-----	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------

ULD表示

- (1)UDA業務で仕分けたULDインタクト貨物の場合は、「I」を入力
- (2)UDA業務で仕分けたバラ貨物の場合は、「L」を入力
- (3)ULDの場合は、「K」を入力

事故貨物

事故コード(業務コード集参照)を入力

- (1)複数の事故がある場合は、代表とするものを入力
- (2)税関届出を必要とする事故は、先頭1桁目に「Z」を入力
- (3)税関届出を必要としない民間の事故は、入力自由
- (4)ULDまたはULDインタクト貨物の場合は、入力不可

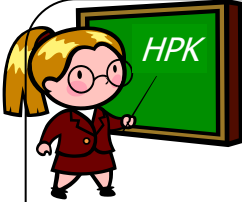
■ 混載貨物確認情報登録について

- (1)HAWB情報登録済の場合、「HAWB情報登録(輸入)(HCH)」業務、または「HAWB情報訂正(CHA)」業務(以下、HAWB情報登録業務という。)により登録された、HAWB情報を確認し、混載貨物確認情報を登録します。また、HAWBがすべて混載仕分け確認済となった旨が入力されたMAWBについては、一定期間保税後システムから削除します。
- (2)HAWB情報未登録の場合、HAWB情報登録業務に先行して、混載貨物確認情報を登録します。
なお、HAWB情報登録業務によりHAWB情報が登録された場合に、当該HAWBは有効な貨物情報となります。

■ HPK業務の入力項目について

MAWB番号*	000 - 12341234	孫混載及び無料期間適用表示	☐
到着便名*	Z80101 / 080CT NRT	ジョイント	☐ 混載業 ☐
取扱開始日時*	2019/05/10 - 11:11	取扱終了日時*	2019/05/10 - 22:22

	HAWB番号 ロケーション	個数	重量	SPC	事故	手作業記号
1	111 - 12341234	5	175 - KGM	☐	☐	☐

- 
- ①1業務で入力可能なHAWB件数は、最大10件とする。
 - ②1MAWBで登録可能なHAWB件数は、最大9999件とする。
 - ③スプリットの登録は、最大30便とする。
 - ④ジョイント混載業(1つのMAWB貨物が複数の混載業者によって仕立てられている事)は、最大19業者とする。
 - ⑤1HAWBで登録可能な到着空港数は、最大5空港とする。

- 貨物確認情報終了登録業務
 - 貨物確認情報の1便分の入力終了した旨を登録します。
 - EPK業務により実施します。
- EPK業務の入力内容について

到着便名*	Z80010 / 07OCT	
仕分開始年月日・時刻*	2011/10/07 - 13:00	仕分終了年月日・時刻* 2011/10/07 - 13:30
到着空港揚	E	終了表示 「E」を入力 ※貨物種別ごとに終了の登録を行う。
仮陸揚		
他空港向一括保税運送		
社用品		

■ AWB情報終了登録業務

- 1便分のAWB情報が入力されていることを確認し、終了登録を行います。
 - 本業務により、フライトサマリ※が出力されます。
- EAW業務により実施します。

■ EAW業務の入力内容について

対象となる到着便名を入力

到着便名※ Z80010 / 07OCT



入力された到着便名に対して、取卸した全ての保税蔵置場において「貨物確認情報終了登録(EPK)」業務が行われている必要があります。

フライトサマリ※ 見本

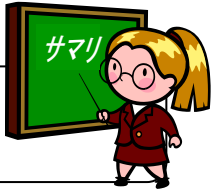
<AIR/IMP>		2020/07/11 14:15			
		FLT SUMMARY			
FLT NO. Z80010/070CT		J6 ZZZ : J9 ZZZ			
		AWB	PCS		
REVENUE					
NRT	16 (16)	536 (536)	5,847.0 (5,847.0)		
(OTHER)	(0)	(0)	(0.0)		
TRSIT	9	923	7,694.0		
TRSHIP	0	0	0.0		
TACM	5	611	7,585.0		
SUB-T	30	2,070	21,126.0		
NON-REVENUE					
NRT	0 (0)	0 (0)	0.0 (0.0)		
(OTHER)	(0)	(0)	(0.0)		
TRSIT	0	0	0.0		
TRSHIP	0	0	0.0		
TACM	0	0	0.0		
SUB-T	0	0	0.0		
TOTAL					
NRT	16 (16)	536 (536)	5,847.0 (5,847.0)		
(OTHER)	(0)	(0)	(0.0)		
TRSIT	9	923	7,694.0		
TRSHIP	0	0	0.0		
TACM	5	611	7,585.0		
G-TOTAL	30	2,070	21,126.0		

(A) 航空会社向けフライトサマリ

<AIR/IMP>		2020/07/11 14:15			
		FLT SUMMARY			
FLT NO. Z80010/070CT		J6 ZZZ : J9 ZZZ			
		AWB	PCS	WT	
REVENUE					
NRT	16 (16)	536 (536)	5,847.0 (5,847.0)		
(OTHER)	()	()	()		
TRSIT					
TRSHIP					
TACM					
SUB-T	16	536	5,847.0		
NON-REVENUE					
NRT	0 (0)	0 (0)	0.0 (0.0)		
(OTHER)	()	()	()		
TRSIT					
TRSHIP					
TACM					
SUB-T	0	0	0.0		
TOTAL					
NRT	16 (16)	536 (536)	5,847.0 (5,847.0)		
(OTHER)	()	()	()		
TRSIT					
TRSHIP					
TACM					
G-TOTAL	16	536	5,847.0		

(B) 保税蔵置場向けフライトサマリ

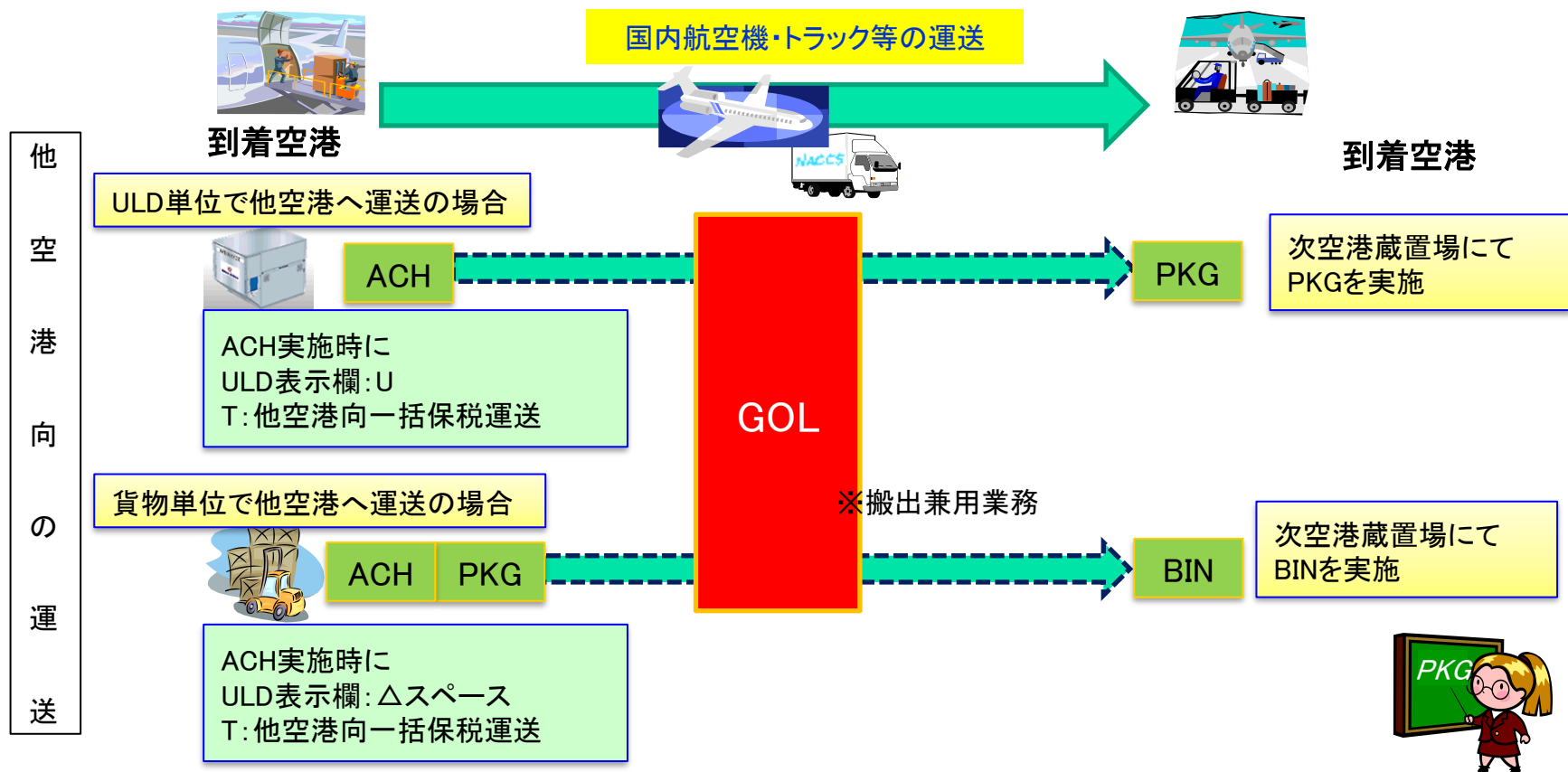
当該出力電文は、入力者とEPK業務を行った保税蔵置場へ出力されます。
※保税蔵置場へ出力されるものは(B)のみとなります。



保税運送申告（一括）について

■ 保税運送申告(一括)について

- 到着空港から一括して到着便単位に保税運送申告、包括保税運送承認に係る個別運送情報の登録または特定保税運送の登録を行います。
- 仮陸揚貨物に対する保税運送申告、包括保税運送承認に係る個別運送情報の登録または特定保税運送の登録も可能です。



■ 保税運送申告(一括)について

- 到着空港から他空港向け一括保税運送貨物、または仮陸揚貨物の保税運送申告を行う。
- 包括保税運送承認番号を入力することにより、包括保税運送承認に係る個別運送情報の登録となる。
- GOL業務で他空港向一括保税運送貨物、または他空港向一括保税運送仮陸揚貨物として登録されているAWB情報を呼び出し、GOL01業務により申告します。

■ GOL業務の入力項目について

到着便名※	Z80050 / 070CT
運送種別※	T
A E O 識別	
運送先※	4MAZG

到着便名、運送種別、及び運送先(保税蔵置場)を入力して、登録されている情報を呼び出します。

T: 他空港向一括保税運送
H: 仮陸揚貨物運送(一括)

■ GOL01業務の入力項目について

到着便名	Z80050 / 070CT	申告先税関官署	☐	包括保税運送承認番号	
運送種別*	T	AEO識別	☐	発送場所*	1AAB4
運送具*	TRK				
運送先*	4MAZG -				
記事					
AWB番号		個数			
01	☐ 131 - 68381283	2			
02	☐ -				
03	☐ -				
04	☐ -				
05	☐ -				



本業務が税関の開庁時間外にわたる場合には、時間外執務要請届がされている必要があります。

保税運送承認通知情報※ 見本

<AIR/IMP>				2011/10/07 16:04			
14000079100							
保税運送承認通知書 (運送目録兼用)							
あて先税関 NARIKOH BC				申告年月日 2011.10.07			
申告者 AIRLINE-J14(TEST)							
運送期間 2011.10.07 から 2011.10.14 まで							
運送種別 T 発送場所 1AAB4 運送具 TRK				保税運送申告番号 14000079100			
運送先 4MAZG - HOZEIZOU-4MAZG				システム外			
便名	S	AWB番号	品名	個数	重量	SPC	事故
入港年月日			MAWB番号			CIF	UNKULD
Z80050/07OCT 2011.10.07		131 68381283	FRESH BROCCOLI	2	544.3	PLQ	
総欄数 1				合計	2	544.3	
記事							
[税関通知欄] 関税法第63条の規定により、あなたが申告した 貨物の保税運送を承認します。 承認年月日 2011.10.07				東京税関成田航空貨物出張所長			

当該出力電文は入力者に出力されます。

